

令和3年度(第76回)文化庁芸術祭賞受賞一覧(参加公演)

演劇部門6件

区分	受賞者(団体)名	受賞対象
大賞	(関東参加公演の部) げきだんしんぱ 劇団新派	じゅうがつしんぱとくべつこうえん 「十月新派特別公演」における「太夫さん」の成果
	(関西参加公演の部) ひょうこけんりつ 兵庫県立ピッコロ劇団	だいいかいこうえん 第71回公演「いらないものだけ手に入る」の成果
優秀賞	(関東参加公演の部) うちのせいりやう 内野 聖陽	こまつざ だいいかいこうえん けしやうにだいい こまつ座 第138回公演「化粧二題」における演技
	(関西参加公演の部) エイチエムピー・シアターカンパニー	エイチエムピー・シアターカンパニー「マクベス 釜と剣」の成果
新人賞	(関東参加公演の部) ひらたい 平体 まひろ	あーらこれくしょん ala Collectionシリーズvol.12「紙屋悦子の青春」における演技
	(関西参加公演の部) れい まこと 礼 真琴	たからづかかげき ぼしやくみこうえん やぎゆうにんぼうちやう 宝塚歌劇 星組公演「柳生忍法帖」「モアー・ダンディズム！」における演技

音楽部門6件

区分	受賞者(団体)名	受賞対象
大賞	(関東参加公演の部) なかもちいくよ 仲道 郁代	なかもちいくよ 「仲道郁代ピアノ・リサイタル 幻想曲の模様」の成果
	(関西参加公演の部) おたまき やまだがく 太田真紀&山田岳	「オペラ《ロミオがジュリエットRomeo will juliet》」の成果
優秀賞	(関東参加公演の部) よねかわ ふみせい 米川 文清	だいいかい よねかわふみせい こと きんげん えんそうかい 「第14回 米川文清 箏・三絃 演奏会」の成果
	(関西参加公演の部) 公益社団法人アンサンブル神戸	だいいかいていきえんそうかい 「第68回定期演奏会」の成果
新人賞	(関東参加公演の部) やまもと つぐみ 山本 亜美	だいいかいていきえんそうかい 「第7回山本亜美二十五絃箏リサイタル 佇むさきに」の成果
	(関西参加公演の部) くまがい あやの 熊谷 綾乃	かげき 歌劇「つばめ」における歌唱

舞踊部門6件

区分	受賞者(団体)名	受賞対象
大賞	(関東参加公演の部) まる あかじ 麿 赤兒	「ゴールドシャワー」の成果
	(関西参加公演の部) 該当なし	-
優秀賞	(関東参加公演の部) ふじま きよつぐ 藤間 清継	ふじまきよつぐぶよう 「藤間清継舞踊リサイタル」の成果
	(関西参加公演の部) かいぞく ぜんまく 一般社団法人 貞松・浜田バレエ団	「海賊」全幕の成果
	(関西参加公演の部) せいかい サイトウマコトの世界	「ロミオとジュリエット」の成果
新人賞	(関東参加公演の部) みやがわ あらた 宮川 新大	とうきやう だん ちゆうごく ふ し ぎ やくじん 東京バレエ団「中国の不思議な役人」、「ドリームタイム」における演技
	(関西参加公演の部) いまい だいすけ 今井 大輔	ほうむらともい だんこうえん 法村友井バレエ団公演「ロメオとジュリエット」におけるロメオの演技

大衆芸能部門6件

区分	受賞者(団体)名	受賞対象
大賞	(関東参加公演の部) すみだがわ ぼせき 隅田川 馬石	ふんとうぼせきとくべつへん なかむらなかぞうとお こうえん 「奮闘馬石特別編 中村仲蔵通し公演」の成果
	(関西参加公演の部) しやうふくてい しききやう 笑福亭 松喬	しやうふくていしききやう かんれきどくえんかい 「笑福亭松喬 還暦独演会」における「らくだ」の話芸
優秀賞	(関東参加公演の部) かんだ きようこ 神田 京子	かんだきようこどくえんかい 「神田京子独演会」の成果
	(関西参加公演の部) かつら きち じやう 桂 吉の丞	きち じやうしんがくじやうく 「吉の丞進学塾」の成果
新人賞	(関東参加公演の部) かつら たけちよ 桂 竹千代	かつらたけちよどくえんかい ふゆ 「桂竹千代独演会2021冬」の成果
	(関西参加公演の部) きよくどう なんりゆう 旭堂 南龍	だいきんかいきよくどうなんりゆうどくえんかい 「第三回旭堂南龍独演会」の成果

令和3年度(第76回)文化庁芸術祭賞受賞一覧(参加作品)

テレビ・ドラマ部門4件

区分	受賞者(団体)名	受賞対象
大賞	日本放送協会	土曜ドラマ「今ここにある危機とぼくの好感度について」
優秀賞	関西テレビ放送株式会社	大豆田とわ子と三人の元夫
	日本放送協会	NHKスペシャル「ドラマ こもりびと」
	日本放送協会	終戦ドラマ「しかたなかったと言うてはいかんです」拡大版

テレビ・ドキュメンタリー部門4件

区分	受賞者(団体)名	受賞対象
大賞	株式会社テレビ岩手	たゆたえども沈まず
優秀賞	日本放送協会	NHKスペシャル「イナサ ～風寄せる大地 16年の記録～」
	北海道放送株式会社	ネアンデルタール人は核の夢を見るか ～“核のごみ”と科学と民主主義～
	日本放送協会	ETV特集「ドキュメント 精神科病院×新型コロナ」

ラジオ部門4件

区分	受賞者(団体)名	受賞対象
大賞	RSK山陽放送株式会社	塀の中のラジオ～贖罪と更生 岡山刑務所から
優秀賞	(ドラマの部) 日本放送協会	FMシアター「はるかぜ、氷をとく」
	(ドキュメンタリーの部) 信越放送株式会社	SBCラジオスペシャル Lost and Found～家族と故郷を失った父と娘の10年～
	(ドキュメンタリーの部) 株式会社CBCラジオ	ERのオーケストラ

レコード部門4件

区分	受賞者(団体)名	受賞対象
大賞	公益財団法人日本伝統文化振興財団	地歌のいろは～九州系地歌と上方地歌の競演～
優秀賞	株式会社フォンテック	ケージ プリペアド・ピアノのためのソナタとインターリュード
	株式会社マイスター・ミュージック	肖像
	有限会社テイク・ワン(Northern lights Records)	ZEN YAMATO 2nd

令和3年度(第76回)文化庁芸術祭賞受賞一覧(参加公演)

演劇部門6件

区分	受賞者(団体)名	受賞対象	受賞理由
大賞	(関東参加公演の部) げきだんしんぱ 劇団新派	じゅうがつしんぱとくべつこうえん 「十月新派特別公演」における「太夫さん」の成果	133年の歴史を誇る新派の底力を見る思いであった。京都島原の遊郭を舞台に、台所と帳場を本物さながらに再現。そこで働く人や出入りする人に至るまでリアルに息づき、戦後間もない時代の波に翻弄されながらも変わらぬ人情の機微を丁寧に描いた。女将の波乃久里子ら新派勢に藤山直美ら客演のアンサンブルもよく、これぞ新派という舞台を作り上げた。
	(関西参加公演の部) ひょうごけんりつ 兵庫県立ピッコロ劇団	だい かいこうえん 第71回公演「いないものだけ手に入る」の成果	スペースコロニーというSF的世界に「ロミオとジュリエット」の物語をはめ込み、恋愛の行方に、戦争や差別への問いを重ねる。土田英生の軽妙かつ批評的な劇作と、個々の役者を生かす的確な演出が光った。また主演の橋義・榎村千晶をはじめ、孫高宏・菅原ゆうきら劇団員が息の合ったアンサンブルを見せてくれた。
優秀賞	(関東参加公演の部) うちの せいよう 内野 聖陽	こまつざ だい かいこうえん けしようにだい こまつ座 第138回公演「化粧二題」における演技	大衆演劇の俳優、市川辰三をひとり芝居で演じた。あたり役の忠太郎と孤児院育ちの辰三の人生が重なり合う構成で、内野は忠太郎役での母に拒絶されての絶望、辰三に戻って孤児院の恩師ジュール先生の前で見せる少年のごとき素の表情、実母の来訪を知っての動揺、さらにはジュール先生の人物像などを生き生きと描き出した。
	(関西参加公演の部) エイチエムピー・シアターカンパニー	エイチエムピー・シアターカンパニー「マクベス 釜と剣」の成果	拝金主義の権力者は自然を破壊し、金を生む戦争を求める。横暴な男性社会で女性が声をあげるには、「男性」になるしかないのか。環境、ジェンダー、絆の切断。現在が抱える問題を穿つこの舞台は、古典の改作ではない、新しい概念で発想した「新作」だ。舞台表現は刺激的でわくわくさせ、優れた芸術センスと実験精神を感じる。
新人賞	(関東参加公演の部) ひらたい 平体 まひろ	あーらこれくしょん ala Collectionシリーズvol.12「紙屋悦子の青春」における演技	いたいけで控え目なたたずまい。恋慕、失意、絶望、覚悟、忍従、希望、諦観——とめぐるしく押し寄せる烈しい感情を内に封じ込め、淡々とした日常会話に徹する主人公・紙屋悦子を好演した。みずみずしさとともに、若さに似合わぬ安定感を備え、いつのまにか観る者に確かな印象を残している。将来に期待を抱かせる逸材である。
	(関西参加公演の部) れい まこと 礼 真琴	たからづかかけき ほしくみこうえん やぎゅうにんぼうちよう 宝塚歌劇 星組公演「柳生忍法帖」「モアー・ダンディズム！」における演技	「柳生忍法帖」の柳生十兵衛役では、強さの中に温かみのある人物像を的確に造り上げた。「モアー・ダンディズム！」では、レビューの根本である明るさと華やかさが横溢。2作品を通じて明瞭で幅広い発声による歌と芝居、指先まで神経の行き届いたダンスと、全てに安定感があるとともに、今後一層の可能性を感じさせた。

区 分	受賞者(団体)名	受賞対象	受賞理由
大 賞	(関東参加公演の部) な か み ち い く よ 仲道 郁代	な か み ち い く よ 「仲道郁代ピアノ・リサイタル 幻想曲の模様」の成果	「仲道郁代ピアノ・リサイタル 幻想曲の模様」では、ブラームス、シューマン、ショパン、スクリャービンの作品が並べられ、仲道が、それぞれの作曲家の幻想へ深く思いを馳せた、ロマンティックで濃密な演奏を繰り広げた。最後のスクリャービンではスケールの大きさやヴィルトゥオジティも披露。大賞に値するきわめて充実したリサイタルであった。
	(関西参加公演の部) お お た ま き や ま だ が く 太田真紀&山田岳	「オペラ《ロミオがジュリエットRomeo will juliet》」の成果	あ だ ち と も み 足立智美への委嘱作品であるオペラ《ロミオがジュリエット》は、シェークスピアの『ロミオとジュリエット』を原作としてAIが作成した台本をもとに作曲された。あごうさとしによる考え抜かれた演出、ソプラノの太田真紀とギターの手田岳による圧倒的なパフォーマンスは、この作品がもつ世界を見事に描き出していた。
優秀賞	(関東参加公演の部) よ ね か わ ふ み せ い 米川 文清	だ い か い よ ね か わ ふ み せ い こ と さ ん げ ん え ん そ う かい 「第14回 米川文清 箏・三絃 演奏会」の成果	地歌箏曲の古典世界に生きる米川文清が、性格の異なる名曲を取り上げ、自らの芸の伝承と立ち位置を明確にした。丁寧な節遣いと三弦の響きが冴えた《袖香炉》に、初代の箏の手付の個性を発揮した《残月》は柔らかみのある味わい。二代文子の妥協のない箏に、三弦で正面から渡り合った《根曳の松》は圧倒的な充実度で、古典の真髄を示し、聴衆を魅了した。
	(関西参加公演の部) 公益社団法人アンサンブル神戸	だ い か い て い き え ん そ う かい 「第68回定期演奏会」の成果	リヒャルト・シュトラウスの管弦楽曲を特集した第68回定期演奏会では、ホルンの木山明子など、関西地域の若い才能を発掘し、特に《メタモルフォーゼン- 23の独奏弦楽器のための習作》では、アンサンブルの繊細な協調と個の綿密な協働による卓越した表現力で、古典的なレパートリーから価値ある芸術音楽を高いレベルで継承していく大きな意義を感じさせた。
新人賞	(関東参加公演の部) や ま も と つ ぐ み 山本 亜美	だ い か い や ま も と つ ぐ み に じ ゅ う ご げ ん そ う た た ず 「第7回山本亜美二十五絃箏リサイタル 佇むさきに」の成果	二十五弦箏が誕生して、30周年を迎えている。この楽器の創始者野坂操壽の編曲委嘱作品2作(高橋悠治、伊福部昭)と奏者自らの委嘱作品2作(森亜紀、高橋久美子)からなるプログラムは、今まで様々な可能性を探ってきた奏者の一つの到達点であり、その演奏は、この楽器の持つ魅力を高い完成度で示したものとなった。
	(関西参加公演の部) く ま が い あ や の 熊谷 綾乃	歌劇「つばめ」における歌唱	今回のびわ湖ホール「オペラへの招待」はプッチーニ晩年の作品『つばめ』。コメディタッチで軽佻浮薄な1920年代パリ社交界を描くもので、オペラ作品としては説得力に欠ける部分もあるが、そのような中であって、澁刺とした演技と確かな歌唱力でドラマをコミカルに進行させていた熊谷(びわ湖ホール声楽アンサンブル所属)の歌唱は高く評価される。

区 分	受賞者(団体)名	受賞対象	受賞理由
大 賞	(関東参加公演の部) まる あかじ 磨 赤兒	「ゴールドシャワー」の成果	国際協働によって、気鋭のフランス人振付家／ダンサー、フランソワ・シェニョーとデュオ作品を制作、上演。西洋文明の母たるギリシャ神話の枠組を借りて、日本の舞踏とフランスのダンスの歴史に磨かれた二つの異質な身体を対話させ、大胆な衣装と美術、挑発とユーモアと共に極めて独創的かつ完成度の高い舞台を実現した。
	(関西参加公演の部) 該当なし	—	
優 秀 賞	(関東参加公演の部) ふじま きよつぐ 藤間 清継	「藤間清継舞踊リサイタル」の成果	静御前を共通項とする古典と創作の二題を上演。古典の技術に根差した優れた表現力が高く評価された。『静と知盛』では能取物をベースとした素踊り作品のポイントを抑え、それぞれの情景を見事に映し出した。自作の『二人静』は日本舞踊とフラメンコを結びつけた意欲作。同名の能の趣向に独創性を加え、清継氏ならではの女形の造型とともに独自の世界を構築した。
	(関西参加公演の部) 一般社団法人 貞松・浜田バレエ団	「海賊」全幕の成果	貞松正一郎の振付でダンサー達の魅力を活かした「海賊」を新制作した。勇壮でリーダーの風格を感じさせる水城卓哉、華やかで細かな心情表現も自然なメーラの上山榛名を筆頭に、高い技術が目を引きアリ(幸村恢麟)、憂いある魅力のギュリナーラ(名村空)など幅広いタイプの実力派ダンサーがバレエ団内で続々と育っていることを印象づけた。
	(関西参加公演の部) サイトウマコトの世界	「ロミオとジュリエット」の成果	斉藤綾子演じるロミオの中性的魅力、池田由希子演じるジュリエットの華奢な外見、両者の高い技術らに支えられ純粋な愛が謳われた。サイトウマコトの役に応じた年代とジャンルを超えた卓越したキャストイングと構成・振付、それに応えた出演者達、変幻自在の舞台美術効果によって独自の世界が展開した。象徴的なラストが心に残る。
新 人 賞	(関東参加公演の部) みやがわ あらた 宮川 新大	東京バレエ団「中国の不思議な役人」、「ドリームタイム」における演技	2018年よりプリンシパルとして活躍する東京バレエ団のトリプルビルで2演目に出演、傑出した演技で新境地を開く。ベジャールの「中国の不思議な役人」では中国の役人を誘惑する第二の無頼漢—娘で両性具有の妖しい魅力を発散。一方、キリアンの「ドリーム・タイム」では、抽象的な夢の世界を洗練された造形美で描出。技巧を超えた多様な表現力にさらなる飛躍が期待される。
	(関西参加公演の部) いまい だいすけ 今井 大輔	法村友井バレエ団公演「ロメオとジュリエット」におけるロメオの演技	容姿に恵まれた大型新人として以前より注目されていた今井大輔が、ロメオという役を得てその資質を開花させた。法村友井バレエ団『ロメオとジュリエット』の土台であるロシア版ならではの高度なリフトも破綻なく、青年の熱情をダイナミックかつロマンティックに演じきり、ジュリエット役、法村珠里とともに見応えあるドラマを構築した。

区 分	受賞者(団体)名	受賞対象	受賞理由
大 賞	(関東参加公演の部) すみだがわ ばせき 隅田川 馬石	ふんとうばせきとくべつへん なかむらなかぞうとお こうえん 「奮闘馬石特別編 中村仲蔵通し公演」の成果	芝居好きの小僧が似合う「四段目」。名優の生い立ちを整理して掘り起こした「序」。師匠・ <sup>ごかいどうくもすけ</sup> 五街道雲助を踏襲した本編「中村仲蔵」と、芝居で括った会。調べ上げた序とよく演じられる本編とで、人物の感情が少し通らない点、定九郎の所作には抑えがほしいことは課題として、今後の可能性に支持が集まった。
	(関西参加公演の部) しょうふくてい しょきょう 笑福亭 松喬	しょうふくていしょきょう かんれきどくえんかい 「笑福亭松喬 還暦独演会」における「らくだ」の話芸	還暦記念の独演会で演じた三席の中でも、特に「らくだ」が秀逸だった。随所に細かい気配りを施して人物の輪郭を浮き彫りにし、鮮明な描写と説得力のある巧みで自在な話芸でぐいぐいと観客を引き込んだ。大舞台での威風堂々の高座で見せた力量は圧巻。古典の幹に松喬の彩り豊かな枝葉を加えた文句なしの見事な一席だった。
優秀賞	(関東参加公演の部) かんだ きょうこ 神田 京子	かんだきょうこどくえんかい 「神田京子独演会」の成果	時代の変化を捉えながら講談で現在の思いを伝えていくのが使命であるという信念のもと、「金子みすゞ～明るいほうへ～」と「大名花屋」という新作と古典を好演し、コロナ禍に生きる我々に、困難に立ち向かって前向きに生きていこうという力強いメッセージを送ってくれた。結婚生活という演者の人生経験が芸の成長に昇華しており、今後の活躍が楽しみだ。
	(関西参加公演の部) かつら きち じょう 桂 吉の丞	きち じょうしんがくじゅく 「吉の丞進学塾」の成果	勢いのあるマクラからの「 <sup>ぶっしやぬすつと</sup> 仏師屋盗人」は盗人と押し入った先の仏師屋との立場が変化していく様子が丁寧な感情表現で描かれ、「 <sup>しろうとじょうるり</sup> 素人浄瑠璃」では旦那を始め魅力的な登場人物と軽快な語り口で会場を大いに沸かせた。大師匠である桂 <sup>かつ</sup> 米朝の誕生日に因んだ「米朝師匠と私」では愛溢れるエピソードが聴衆の心を打ち、トリの米朝作「 <sup>いちもんぶえ</sup> 一文笛」できっちり締め括り、会全体の流れが緩急のついた構成で見事であった。
新人賞	(関東参加公演の部) かつら たけちよ 桂 竹千代	かつらたけちよどくえんかい ふゆ 「桂竹千代独演会2021冬」の成果	言葉を、高座で生まれたばかりの鮮度で届ける。作り込みを感じさせないしゃべりのスキルが高い。「 <sup>あわび</sup> 鮑のし」は現代的くすぐりが多く、営業ネタの側面は拭えない。「古事記～完全版」は古代史を熟知している竹千代ならではのネタだった。両ネタとも深みを追求することに腐心せず、眼前の客を笑わせたいという大衆芸能者の心構えを見せた。
	(関西参加公演の部) きよくどう なんりゅう 旭堂 南龍	だいさんかいきよくどうなんりゅうどくえんかい 「第三回旭堂南龍独演会」の成果	華のある高座ゆえ、これまでは華にその芸が圧されることもあった。しかし今回の独演会では、格調高い語りで観客を魅了し、地道な研鑽の成果を見せつけた。男女の「情」を丁寧に表現した「 <sup>しやうげん</sup> 光秀の祝言」、四代目 <sup>きよくどうなんりゅう</sup> 旭堂南龍との思い出とともに披露した「おぼろの便り」は親子、師弟の温かな「情」で聴く者の胸を切なく締め付けた。八代目 <sup>いちりゅうさいていざん</sup> 一龍齋貞山にももらった「 <sup>とくり</sup> 徳利の別れ」では、今後の活躍の場が関西にとどまらないことを示して見事だった。

令和3年度(第76回)文化庁芸術祭賞受賞一覧(参加作品)

テレビ・ドラマ部門4件

区分	受賞者(団体)名	受賞対象	受賞理由
大賞	日本放送協会	土曜ドラマ「今ここにある危機とぼくの好感度について」	大学を舞台にした不祥事の隠蔽工作を通して人物たちのあり方を問う野心作である。当初はシニカルな戯画と思わせつつ、最後にはシリアスな社会派的断罪に至る。主人公の設定も物語の展開も類例なくユニークなうえに、一大学の事件に仮託しつつ現在の日本社会の危うい状況までも射程に入れた内容で、非常に志高き作品となった。
優秀賞	関西テレビ放送株式会社	大豆田とわ子と三人の元夫	結婚と離婚を3回繰り返す、会社では社長を任されているとわ子。めまぐるしく変化する彼女の日常と速度を合わせるように会話劇が進行し、とわ子の人生の一コマと一緒に走っているような楽しさがあった。主題歌も印象的。脚本、演技、演出に加え、音楽、衣装などスタッフの力が結集された上質なドラマとして評価された。
	日本放送協会	NHKスペシャル「ドラマ こもりびと」	父親役の武田鉄矢氏に、社会現象にもなった往年の学園ドラマの先生の40年後を重ねる視聴者は多いだろう。そのフィクションの熱血教師を、ひきこもり、SNS、パワハラ、非正規雇用など数々の40年前にはなかった現在のノンフィクションに立ち合わせる。そこから生まれる戸惑い、翻弄のドラマは現代を生きる者に改めて時代の流れを感じさせる。
	日本放送協会	終戦ドラマ「しかたなかったとてはいかんです」拡大版	自身の米軍捕虜の生体解剖の「加害」の罪から目を背けず、真摯に向かい合う主人公の誠実さに胸を打たれる。戦争は、人間を容易に「狂気」に掻き立てる。その意味では、このドラマは今を生きる私たちにも重いテーマを突きつける。「人間の命に対してしかたなかったと、決して言うてはならない」という主人公のセリフは、いつの時代にも通ずるものだ。

テレビ・ドキュメンタリー部門4件

区分	受賞者(団体)名	受賞対象	受賞理由
大賞	株式会社テレビ岩手	たゆたえども沈まず	東日本大震災から10年。予兆から震災直後の信じがたい光景、そして震災当時の被災者のビデオレターを定点にそれぞれの人生を丹念に追い、彼らの心の揺れや決意と向き合い、大きな断絶のあった人生の意味を問い直している。対象者への誠実な視点と武骨でざらついた感触の映像構成で、視聴者に生きる意味を問いかける力作である。
優秀賞	日本放送協会	NHKスペシャル「イナサ ～風寄せる大地 16年の記録～」	春になると海からやってくる南東の風「イナサ」とともに生きてきた仙台市の海沿いの集落・荒浜。10年前の大津波に飲み込まれた集落の16年間を追った。記録された映像から紡ぎ出された物語が観る者の心に響く。映像が秀逸である。そして人間が深く描かれている。取材対象者の言葉だけでなく顔や手に刻まれたシワからもメッセージを伝えた。
	北海道放送株式会社	ネアンデルタール人は核の夢を見るか ～“核のごみ”と科学と民主主義～	原発の高レベル放射性廃棄物＝「核のごみ」の地層処分調査に名乗り出た北海道寿都町。賛否で二分された構図の裏に、町に落ちる莫大な交付金目当ての思惑や、南鳥島を最適地とする提案があることなど知られざる事実を抉りだした。事業主体「NUMO」理事長にも取材、国の核政策が自治体に押し付けられている歪みを浮き彫りにした構成力が光る。
	日本放送協会	ETV特集「ドキュメント 精神科病院×新型コロナ」	「精神疾患のあるコロナ患者」専用病棟を設置した都立松沢病院。クラスターが発生した複数の精神科病院から患者を受け入れ、高度な医療を行う。一方、転院元のスタッフや患者から、患者を劣悪な環境に置く病院の実態も語られる。番組は逼迫する現場で闘う医師らに密着。コロナ禍を機に、日本の精神科医療の「構造的な闇」を炙り出し、問題の本質を鋭く突きつけた。

## ラジオ部門4件

区 分	受賞者(団体)名	受賞対象	受賞理由
大 賞	(ドキュメンタリーの部) RSK山陽放送株式会社 さんようほうそうかぶしがいしゃ	へい なか 塀の中のラジオ～贖罪と更生 おかやまけいむしょ 岡山刑務所から	服役する半数が無期刑の獄中で、週に一度放送される手作りのラジオ番組を核に、粘り強く取材し続けた制作者。音のみの取材ゆえに拾うことができたであろう受刑者たちの心の声を丁寧に紡ぐことで、彼らの眩きの裏側に存在する罪の重さと葛藤や苦悩を聴く者に想像させ、人の生き様について深く考えさせる秀逸な番組を創り上げた。
優 秀 賞	(ドラマの部) にっぽんほうそうきょうかい 日本放送協会	FMシアター「はるかぜ、氷をとく」 こおり	震災10年目を扱った作品が今年は多かったが、原発事故の影響で自主避難した親子(母(姉)と息子)と福島に残った親子(母(妹)と娘)その4人だけの登場人物で描く物語。4人のモノローグが使われ、それぞれの登場人物の心境が伝わり、10年という月日が背負う4人の心情が交錯し、淡々と描かれながらも胸が締めつけられる。登場人物たちの福島弁も温かかった。福島局の思い、出演者、作者の思いを感じた。
	(ドキュメンタリーの部) しんえつほうそうかぶしがいしゃ 信越放送株式会社	SBCラジオスペシャル Lost and Found～家族と故郷を失った父と娘の10年～ かぞく ふるさと うしな ちち むすめ ねん	東日本大震災と津波で祖父と妻、次女を亡くした大熊町の木村さん一家。東京電力福島第一原発事故による放射能の影響で次女の捜索はかなわなかった。自宅跡には中間貯蔵施設が建設中。遺された父と長女の生きた記録と揺れる心を、本人の証言とWナレーションで、立体的に描き心に響く。構成力と語りの力を高く評価したい。
	(ドキュメンタリーの部) かぶしがいしゃ 株式会社CBCラジオ	ERのオーケストラ	通常は知りえないER内部の模様を、コロナ禍で克明に描くという今日的視点がある。同時に医療界のヒエラルキー(専門医と総合医の軋轢)という積年の問題を明確に示した。変化する社会にあって医療体制はどうか。一つの病院を舞台にしながら、医療を巡る市民社会の課題を挑戦的に描いた点を評価。

## レコード部門4件

区 分	受賞者(団体)名	受賞対象	受賞理由
大 賞	こうきぎざいだんほうじんにほんでんとうぶんかしんこうざいだん 公益財団法人日本伝統文化振興財団	じゅうた 地歌のいろは～九州系地歌と上方地歌の競演～ きゅうしゅうけいじゅうた かみがたじゅうた きょうえん	多彩な演奏形態とそれぞれに適した選曲によって九州系地歌と上方地歌の差異を検証しつつ、両者の魅力を存分に示すことに成功している。演奏会での録音ではなく、スタジオで録音し直すことによって精度が高まり、この意欲的な企画趣旨をより明確にすることで、記録・研究・そして鑑賞においても完成度の高いものとなった。
優 秀 賞	かぶしがいしゃ 株式会社フォンテック	ケージ プリペアド・ピアノのためのソナタとインターリュード	グランドピアノを色彩豊かな打楽器に変えるプリペアド・ピアノに、きたむらともき 北村朋幹が挑んだ。北村はドイツを拠点とする若く繊細な感受性をもつピアニスト。ケージの《ソナタとインターリュード》のために、1956年製のスタインウェイを選んだセンスがすばらしい。抒情的解釈と透明感のある響きが、20世紀とは異なるケージ像を描いた。
	かぶしがいしゃ 株式会社マイスター・ミュージック	しょうぞう 肖像	2枚のCDのなかに、8名の日本人作曲家が独奏チェロのために書いた代表的な9曲を収める。どれもそれぞれの作曲家の個性や作風の典型を担っているが、それを堤剛が常に求道的に磨き上げてきた演奏様式でみごとに弾ききっている。自然に背筋を伸ばして聴き入ってしまう迫力があり、チェロを通して現代日本の創作史を描く優秀盤。
	ゆうげんがいしゃ 有限会社テイク・ワン (Northern lights Records)	ZEN YAMATO 2nd	ぜんむじょうぢはのぜんやうじけいすけ 虚無僧尺八の善養寺恵介と山田流箏曲のやまとしょうわ 山登松和による15年目の非常に息のあった全5曲を収録する。古典から現代の歌曲、さらに本CDのために構成された器楽曲と多様な作品が厳選された。箏と尺八の基本的な演奏に、重ね録音は尺八のみ、箏・三弦のみ、両者ともに、と録音ならではの手法を活かし、二人の濃密で高度な演奏を見事に表現した。